

## 11 月度木曜例会

2018 年 11 月 1 日

茨木市福祉文化会館 202 号室

ゲスト：Ms. Yoshiko Hanks (USA)

テーマ：“Legacy～What are you leaving for the next generations!?”

本日は、USA 在住の Yoshiko Hanks さんをお迎えして、彼女が癌をいかに克服し、その後の人生をどのように歩んできたかを語っていただきました。

### 自己紹介と講演内容の主旨

東京生まれ、下町の人形町育ちの Yoshiko Hanks さんは、どちらかという  
と引っ込み思案な性格であった。

自分で変えていきたいという思いから、アメリカ・カルフォルニアのサン・  
ノゼに渡り勉強した。

日本でのどちらかという **negative thinking** からアメリカの **positive thinking** の風土にふれて、自分が変わっていったと思っている。

癌を発病し、それと向き合い、そこから立ち上がった経験を通して、皆さん  
にお話しして参考にさせていただければ嬉しいと考えています。

生きていく上では、多くの困難があります。

その経験を通して、私は私たちの次の世代に何を残していけるかが、大切だ  
と考えます。

### 癌治療とその経過

#### 化学療法開始時の写真



#### 化学療法時



辛くて、しんどい時期ではあったが、  
治療時以外は、普段と同じような生活をする毎日であった。

## 化学療法卒業時



I received a certificate of the lion's heart.

牧師さんは私のために祈ってくださいました。

また、家族や友達は強い支えとなった。

癌克服後は、体験談をお話しして他の方々と共有化する機会を持った。

癌は私に第二の人生を考える機会を与えてくれた。

アメリカ市民権を獲得した。

(試験を受ける必要があり、夫が献身的に協力してくれた。)

お祝いに夫がハンバーガーショップでお祝いをしてくれた。

## アメリカ市民権獲得



## 癌克服後

### フィットネス・インストラクターへ



私たちのインストラクター・グループは、人生での困難に打ち勝つために、健康で強くなりたいと考えている。

そして人々の目標達成の手助けをしたいと思っている。

## 孫たちへ伝えたいこと

彼らに、私の思いを伝え、激励し、記憶を残し、アドバイスをしたいと思う。

若い人たちに良い影響を与え、彼らの生活にふれ合いたいと思う。

英語を教える機会があるので、その場を通して私の学んだことを共有できたらと良いと考えている。



彼女の最愛の夫の写真、オーストラリアで出会い本日の例会にも来ていただいた Saori さんの写真、箕面のお住いの Chiaki さんの写真を見せていただく。

新しい趣味でもある絵を描き、子供たちにも創造性を身に付けてもらうためにも小学校で先生のお手伝いをしている。

クリスマスのリース作りやツリー作り（これには IIN メンバーの写真もあり）を教えている。

夫が、家庭菜園で野菜を育て、鶏を4羽飼っており新鮮な卵を食べている。非遺伝子組み換え作物を食べることは良いことだと思う。

私たちには多くの困難が訪れるが、恵みを与えられていることを忘れてはならないと思います。

最後に詩の朗読をされました。

## 小学生たちと



One night I dreamed a dream.  
As I was walking along the beach with my Lord.  
Across the dark sky flashed scenes from my life.  
For each scene, I noticed two sets of footprints in the sand,  
One belonging to me and one to my Lord.

After the last scene of my life flashed before me,  
I looked back at the footprints in the sand.  
I noticed that at many times along the path of my life,  
especially at the very lowest and saddest times,  
there was only one set of footprints.

This really troubled me, so I asked the Lord about it.  
"Lord, you said once I decided to follow you,  
You'd walk with me all the way.  
But I noticed that during the saddest and most troublesome times of my  
life, there was only one set of footprints.  
I don't understand why, when I needed You the most, You would leave  
me."

He whispered, "My precious child, I love you and will never leave you  
Never, ever, during your trials and testings.  
When you saw only one set of footprints,  
It was then that I carried you."